



八軒つうしん



巻頭言

平成二十七年を 振り返って

会長 菅井 茂



平成二十八年は穏やかな天気、明け、暖冬ということもあり、元

朝参りや仙台の初売りには多くの人出でにぎわいました。特に初売りでは昨年十二月六日に開通した地下鉄東西線の利用客が多かったと聞きました。これで仙台の経済は元気づくと期待していたのですが、四日からの株式市場は世界中で株価の暴落が続き、今年の世界及び日本経済の動向が気になっていきます。

さて、昨年は私にとって大きなことが三つありました。その一つは同窓会総会です。総会には歴代校長先生方や恩師の先生方をはじめ百名を超す方に参加していただきまし

た。お蔭で盛大に行うことができましたし、皆さんと楽しいひと時を過ごすことが出来ましたこと改めて感謝申し上げます。また菊池敏夫先輩(三回生)には総会の一部始終をビデオ撮影しCDにまとめていただきました。それを恩師の先生方にお送りしたところ先生方からも感謝の言葉が寄せられました。この紙面をお借りし改めて菊池先輩に感謝申し上げます。

なお、総会では私が会長をもう一期務めることになりましたので、よろしくお願い致します。また「平成二十九年の総会は、新制七十周年記念総会とし、記念事業を実施する」ことを認めていただきました。今後同窓会は中学校とPTAと一緒に七十周年に向けて記念事業や記念式典等をご理解ご協力よろしくお願い申し上げます。

二つ目は、今回初めて八軒中学校の全生徒・教職員が参加した「八軒中学校区総合防

災訓練」を実施したことです。十月三十一日(土)午前八時発災という想定の下で、八軒中学校の生徒と教職員全てが「南材小学校」と「若林小学校」、「古城小学校」の三避難所に分かれて、生徒たちが住んでいる地区の南材地区・若林地区・古城地区の総合防災訓練に参加しました。この防災訓練には南材・若林・古城各小学校の全児童・教職員も参加したので大規模な訓練となりました。

八軒中学校の生徒たちは避難所の設営から運営まで携わり更には各種訓練にも参加しました。これは、生徒たちが将来どこで災害に遭うかわからないが、いざという時そのいる場所で災害に適切に対応できるようなとの目的で実施しました。このような大規模な訓練は仙台市内では初めての訓練で今後各中学校区でも検討されていくものと思っております。

三つ目は、同窓会庶務次長の木幡淳一氏が亡くなられた

ことです。誠実で責任感の強い、実直な彼が、十一月突然黄泉の国に旅立たれました。癌の発見が遅く見つかつた時には時すでにおそしということでした。まだまだこれから活躍していただく人物でした。そのような大切な人材を失い、残念でなりません。同窓会にとっては大きな痛手です。

平成二十七年はこのように大きなことがありましたが、次のステップに向かって歩み始めた年であり、平成二十八年はその歩みをさらに加速させていく年と考えていますので、皆様よろしくお願いいたします。



10月31日の総合防災訓練

平成二十七年同窓会総会

すべての議案を承認

平成二十七年七月十一日、メルパルク仙台において、八軒中同窓会総会が開催されました。

来賓として、母校である八軒中学校から、米澤通徳校長先生、菅野勝紀教頭先生、同窓会担当の渡邊貴之先生、菅原徹先生、加藤真由美PTA会長が出席されたほか、小松尚哉前校長先生、平定明第十一代校長先生、かつて在職された菅原昭二先生、笠原武文先生、布施利雄先生、さらに荒井浩元PTA会長にもおいでいただきました。

第一部は、直野まり事務局長の司会により進行しました。

菅井茂会長、米澤校長先生のご挨拶に続き、八軒中同窓会に多大なご芳志をいただいた団体の代表を務めておられた旅立神社宮司の荒井元PTA会長に対し、感謝状が贈られました。恩師のご紹介の後、菅井会長が議長となつて議事に入りました。報告として、安達事務局長から



飯沼恒一副会長、福島一恵監事を新たに選出

活動報告、遠藤恭郎会計次長から会計決算報告、今野喜郎監事から監査報告、佐藤徳子副会長から「私の八軒時代」編纂委員会報告、永田淳子広報次長から同窓会会報「八軒つうしん」発行報告がありました。

協議として、安達事務局長から活動計画、遠藤会計次長から会計予算について提案がなされ、いずれも多数の拍手により承認されました。その後、遠藤会計次長(役員推薦委員長)から、次期役員について役員推薦委員会での検討結果が報告され、これを受けて菅井会長を始めとした新しい役員が選出されました。

また、前回に引き続き、同窓会財政強化のため個人及び団体(同期会等)に協力金の呼びかけを行うことについて、遠藤会計次長から提案があり、了承されました。

旧友、恩師との再会を喜び合つて

第二部は、大沼由依先生率いる八軒中学校合唱部三十名による特別演奏でした。しばし若い歌声に耳を傾け、元気をもらいました。

ここからは、当番学年である第二十二回生の鈴木良子さん、菅原隆さんと第二十三回生の徳田実さん、堀籠京子さんが司会を担当しました。

そしていよいよ第三部。菅井会長の開会の言葉、平定明第十一代校長先生の祝辞の後、旧制第八回生の遠藤榮相談役の音頭で乾杯し、懇親会がスタートしました。第十二回生の八谷和子さんの祝舞が披露され、DVDで現役生の様子が映し出される中、旧友、恩師との再会を喜び

合う姿が、そこかしこで見られました。

アツという間に二時間が過ぎ、校歌を斉唱した後は、飯沼恒一副会長の閉会の言葉に続いて恒例の遠藤会計次長のエール、更に第四十三回生の佐藤栄徳さんもエールを行い、盛り上がりお開きとなりました。

全体で百十名の出席がありました。二年後には、母校・八軒中学校が新制七十周年・創立八十二周年を迎えます。同窓会としても、活動への参加者の裾野を広げ、当番学年や若い世代の協力を得て、盛大にお祝いしたいものです。



八軒中学校合唱部による特別演奏

新制七十周年に向けて

七十周年記念事業

実行委員会について

仙台市立八軒中学校

新制七十周年

(創立八十二周年)

記念事業実行委員会

委員長 菅井 茂

平成二十七年の総会で「平成二十九年に八軒中学校は新制七十周年・創立八十二周年を迎えます。五十周年記念式典から二十年近くたちますし、百周年までは私は生きられそうもありませんので、平成二十九年の総会は七十周年記念の総会にしたいと考えています」とお話しし、皆様のご了解をいただきました。これについてその後の動向をご報告いたします。

九月十五日、八軒中学校の校長室で米澤校長・加藤 P T A 会長と話し合いを持ち、「記念式典」並びに「記念事業」を実施することとし、そのための実行



平成 9 年 10 月 17 日に行われた新制 50 周年・創立 62 周年記念式典

会を立ち上げることにしました。委員

その第一回実行委員会を一月二十一日に八軒中学校で開催し、実行委員長に同窓会会長、副委員長に飯沼・佐藤同窓会副会長と加藤 P T A 会長、事務局長に菅野教頭が就き、米澤校長が参与となりました。委員会も総務部・式典部・祝賀会部・記念誌編集部・会計部と監査部を設け、それぞれに学校側と同窓会・ P T A 役員が就き活動することにしました。

また、記念式典を平成二十九

年十一月二十三日(祝・木)午前十時から八軒中学校体育館で、祝賀会を同日午後三時から会場を移して実施することにしました。

これから実行委員会が中心となって準備を進めることとなります。予算の面では、同窓会基金をもとに協賛金や広告料等を多くの方に募っていきましようということになりましたので、会員の皆様には是非ご協賛していただきますようお願い申し上げます。

新しい仲間

平成二十六年度(第六十八回)八軒中同窓会入会式は、平成二十七年三月六日に行われ、男子六十五名、女子八十八名の計百五十三名が、新たに同窓生となりました。

当日は、先輩として第十五回生の和田裕一さん(宮城県産婦人科医会会長)から、人と人とのつながりが大切であり、人生にムダなことはないという「錢のことば」が贈られました。

同期が集えば(一)

第十三回生(昭和三十五年卒)

平成二十六年は古稀の年。九月に秋保温泉「岩沼屋」に一泊二日で七十九名、大勢の参加で大盛況。昨年二十七年は同窓会総会後に仙台駅東口の「天海ハマ市場」にて二十一名参加の懇親会。何かにつけて集まり、大いに飲み食い、ダベリング。今年二十八年は高齢者が冬眠から目覚める桜満開の四月に河原町の「つきだてや」にて懇親会を企画中。固い絆の爺・婆の十三回生です。(庄司 茂雄)



3年2組では、10月22日、担任だった菅原昭二先生の米寿を祝う会を有志で行いました。

同期が集えば(一)

第十五回生(昭和二十七年卒)

今年の三月十一日、東日本大震災から五年になります。多かれ少なかれ影響を受け今の生活があります。八軒中の合唱団もそんな中で、避難された人々を励まし、協力して過ごし、大きな経験をされたことを知りました。

さて、平成二十七年五月十六日、同期会をまず中学校見学という事で学校に集合し、教頭先生の案内で校舎、屋上のプールまで見せていただき、昔の教室の雰囲気懐かしみました。その後「つきだてや」にて二十四名の出席、北海道、東京方面からの参加、仙台市内からも初参加の人達と話に花が咲き、旧交を温めることができました。なごやかな時間を過ごした後、皆様と校歌を歌い、再会を約束しながら散会致しました。

十五回生の同期会も、村井さん、豆田さんが力となり、参加者も増えてきました。また、有志でミニ集会をして、歌あり演奏ありと、とても楽しい会となっておりま。これから飯沼副会長さんのもと、古希の祝いに向かって出来る限り多くの同期生と会えます様、協力して会を盛りあげていきましょう。最後に一つ悲しいご報告をしなければなりません。私達十五回生のまとめ役として中学時代には生徒会長を務められ、昨年まで同窓会の役員として活躍されていた木幡淳一さんが平成



亡くなられた木幡さんの笑顔も見えます

二十七年十一月二十一日にご病氣のため逝去されました。五月十六日の同期会ではとてもお元気で、皆さんと楽しくお話をされていきましたので、未だに信じることができません。心からご冥福をお祈りいたします。

(富沢 恵子)

第十七回生(昭和二十九年卒)

仙台真田家第十四代当主真田徹氏と「たいこ茶屋」名物!ガッツおじさん嵯峨完氏をお迎えして、平成二十七年十月三日(土)遠刈田温泉・旅館源兵衛を会場にして、四ツ葉三九会総会を開催しました。

参加者は会員三十名、恩師は笠原先生でした。伊藤文雄事務局長が進行役となり、小野寺幹雄会長の挨拶で始まりました。

大河ドラマ「真田丸」に因んで仙台真田家の知行地であった



仙台真田家第14代当主の雄姿

蔵王町で旧交を温めることとなり、新聞にも大きく取り上げられました。

翌日は、仙台真田家ゆかりの史跡をご当主に案内してもらいました。



ガッツおじさん 浅草駅にて

「たいこ茶屋」のガッツおじさん嵯峨氏は、被災地を訪問してマグロの解体ショーを開催しています。宮城県や福島県など今まで二十回以上を数えます。

また、週一回朝七時半から浅草橋駅前立って、「今日も元気に頑張りましょう!」とお一人お一人に「ガッツ」と呼びかけています。

我々四ツ葉三九会一同、真田丸とガッツおじさんを盛り上げていくことを約束して散会しました。同窓会の皆様にも応援を宜しくお願いします。

(安達 和則)

第十八回生 (昭和四十年卒)

きっかけは二〇〇六年六名位でプライベートゴルフを楽しんだ事に始まり、南材小、八軒中の同期生に呼び掛けて年三回コンペをする事になり、第一回は二〇〇七年十一月にマグノリアカントリークラブで九名参加し開催されました。

その後、ゴルフ参加者以外にも声をかけて、夏は納涼会、冬は忘年会を開催し登録メンバーは七十名を超えております。

二〇二五年の活動を報告します。
四月五日 「ゴルフ」

マグノリアカントリークラブ
十七名参加

七月五日 「ゴルフ」

マグノリアカントリークラブ
十七名参加

八月二十九日 「納涼会」

伊達の牛タン
三十二名参加

十月二十五日 「ゴルフ」

マグノリアカントリークラブ
十八名参加

十一月二十七日 「忘年会」

グリーンコート
十八名参加

十八名参加

ゴルフコンペはこれまで二十四回実施しております。ここまですべて継続してこられたのは、ひとえに総括幹事の直野まりさんのお蔭です。又、初回からの成績を記録している小室秀一君の努力も会の運営に欠かせない所です。

今後とも出来るだけ多くの同期の皆さんに参加してもらえよう声掛けをしていきたいと思っております。

(高橋 雅樹)

第二十二回生 (昭和四十四年卒)

我々第二十二回生は、東京で

時々集う飲み仲間の「同期に会いたい」という強い想いから、還暦目前の平成二十五年四月、卒業以来最初の同期親睦会を開催し、更に二年七カ月が経過した昨年十一月二十一日、「パレス

へいあん」に於いて第二回目を開催、前回比一・五倍の六十名が集い久しぶりの再会を喜びありました。

今回の開催に当たっては、櫻井実君を始めとする首都圏幹事七名に、高久俊一君他仙台在住

の六名を加えた総勢十四名の幹事団で、組織的な消息確認を行った結果、百二十三名の消息判明と六十名の参加に繋がりました。特に、仙台在住幹事の粘り強い確認行動は大変効果的であり感謝しています。当時我が学年は九クラス、約四百名だったので、判明率は三十%にすぎませんが、幹事のもとには、「よくぞ私を探してくれました」、「みんなに会うのが怖い気もしますが、勇気を奮って参加します」など、多くの返信が寄せられ、幹事として涙が溢れる想いでした。

当日は四十七年振りの再会となった仲間も多く、写真撮影、握手・ハグや「変わってないね!」「えっ!○○くん?!」と会話が盛り上がる姿が、会場のあちこちで見受けられました。

卒業後、それぞれの人生を生きてきた訳ですが、十五歳までの多感な時代を共有し、学校のみならず、地域や家族にも根付いた仲間だからこそ、会いたさが募るのかも知れません。

楽しい時間はあっと言う間で

したが、その後の二次会にも五十名超が参加し、ワイガヤは夜遅くまで続きました。後日談ですが、「(参加してよかった!)まるでカーニバルのような夜だった」と当時の生徒会長が話してくれました。在仙の仲間達が主幹事となり、三年以内の三回目開催を約束し、集ってくれた同期生に感謝しながら、第二回目親睦会を閉じました。

(針生 貞裕)



まるでカーニバルのような夜でした

いあい

八軒愛

仙台市立八軒中学校

教頭 菅野 勝紀



校八軒中への愛情をずっと感じ続けてきました。

思い起こすと、八軒中学校に赴任して最初に出会った地域の方が同窓会長の菅井茂先生でした。それから間もなく、同窓会総会準備会の資料作成で来校した佐藤副会長、安達事務局長ほか同窓会役員の方々に初めてお目にかかりました。八軒中に来たばかりで、学校のことも学区のこともよく分からない私に、菅井会長はじめ同窓会役員の方々は八軒中学校の歴史や伝統、

学区の特長などを親切に丁寧に教えてくださいました。学区にある老舗もいくつか紹介していただきました。役員の方からお裾分けしていただいたつぼやさんのお菓子が大変美味だったことを覚えていきます。

新しい学校で少し落ち着いた四月中旬、第十五回生代表の飯沼恒一さんから学校見学について連絡をいただき、五月十六日に第十五回生十七名の方々に校舎を案内しました。校長室で歴代校長の写真を懐かしそうに眺める表情や、教室の机に座って中学生当時のエピソードを生き生きと語る姿からたくさん元気を感じていただきました。

同窓会役員の方々の会合や同窓会総会準備会、そして七月十一日の同窓会総会と同窓生の方々と御一緒する度に、これほど強い絆で結ばれ、これほど盛んに交流している八軒中同窓会をとてもうらやましく思いました。また、これほどまでに卒業生に愛され、応援されている八軒中がとても誇らしく感じられました。

十月三十一日には、初めての試みとして八軒中学校区総合防災訓練が実施されました。八軒中学校の全生徒が南材小学校、若林小学校、古城小学校の各会場に分かれ、八軒中同窓生を多数含む地域の方々との絆を感じながら、地域防災の担い手として主体的に避難所運営に関わりました。生徒たちは、地域の方々にたくさん褒めていただき、充実感を持って活動を振り返っていました。

地域の方々から見ればまだまだ足りないところも多いと思いますが、応援してくれるたくさんの方々の期待に応えられるよう、職員一同「人との



平成 27 年度着任式

関わりを大切に「八軒生」を精一杯育てていきたいと考えています。

同窓生の皆様には今後とも母校八軒中学校に変わらぬお力添えをお願いいたします。

在校生の活躍ぶり(一)

《運動部》

第六十四回

仙台市中学校総合体育大会

- ① 剣道
 - 男子 団体 一位
 - 個人 二位
- ② サッカー
 - 男子 一位
- ③ 新体操
 - 女子 団体 六位
- ④ 水泳
 - 男子 三年百Mバタフライ 八位
 - 三年二百Mバタフライ 七位
- ⑤ ソフトテニス
 - 男子 個人 五位
 - 女子 団体 三位
 - 個人 二位、三位、五位

⑥ 卓球
女子 個人 一位

⑦ 陸上
男子 砲丸投げ 三位
三年百 M 七位
女子 二年百 M 三位

第六十四回

宮城県中学校総合体育大会

① 新体操
女子 団体 六位

② 陸上

男子 砲丸投げ 四位
女子 二年百 M 六位

仙台市中学校特別支援卓球大会

三年男子 B 四ブロック 三位

第十回イバラトミヨ杯

サッカー 男子 二位



陸上カーニバル (5月 29 日)

《文化部》

① 吹奏楽

・第三十回宮城県管打楽器
ソロコンテスト 銀賞
・全日本吹奏楽コンクール
第五十八回宮城県大会予選
仙台太白・宮城野・若林地区
大会 金賞
・全日本吹奏楽コンクール
第五十八回宮城県大会 金賞

・全日本アンサンブルコンテス
ト第四十九回宮城県大会予選
仙台若林地区大会 金賞
管打楽器七重奏 銀賞

② 合唱

・第八十二回 NHK 全国学校
音楽コンクール 銅賞
宮城県コンクール大会 銅賞
・第六十七回全日本合唱コン
クール 宮城県大会 銅賞

《その他》

・仙台市小中学校児童生徒
読書感想文コンクール
仙台市教育委員会賞
・第五十四回宮城県造形教育
作品展 特選

・仙台市中学校社会科
地図作品展

高度分布図 銅賞
土地利用部門 銀賞
・第八十三回全国書画展覧会
書の部 毛筆 特選、金賞、銀賞

・私たちの作品展
特別支援 優秀賞



校内合唱祭 (7月 8 日)

《主な学校行事》

・入学式 四月九日
・三年生 修学旅行 四月九日
東京・横浜・千葉
五月十四日～十六日

・一年生 校外学習 平泉 五月十五日
・陸上カーニバル 五月二十九日



故郷復興プロジェクト (11月 11 日)

・校内合唱祭 七月八日
・文化発表会 九月五日
・二年生 職場体験活動
十月二十～二十二日
・八軒中学校区総合防災訓練
十月三十一日
・二年生 校外学習 山形
十一月六日
・児童生徒による故郷復興プロ
ジェクト
十一月十一日
・同窓会入会式 三月十日
・卒業式 三月十二日
※ 写真は八軒中ホームページ
から転用しました。

在校生の活躍ぶり(二)

善行篤行児童生徒

として表彰



平成二十七年九月十二日、八軒中学校の一年生二名は、保護者とともに車で南材木町小学校

近くの美容室へ行きましたが、予約の時間より早く着いたため駐車場で待つことにしました。

そのとき、保護者が小学校の南門前に男性が倒れていることに気が付いたので、二名の生徒は現場に駆けつけました。すると、七十歳くらいの男性が頭から多量の血を流して倒れており、頭蓋骨の陥没骨折が疑われるような状態でした。

そこで、一名の生徒は、車にあつたタオルとティッシュペーパーを持ってきて、男性の頭部に当てて止血の応急処置を行い、もう一名の生徒は、近くにある仙台市若林消防署河原町分署に走り、救急隊員に事情を説明し

ました。すぐに救急車が出動し、男性は病院へ搬送されました。

この二名の行動に対し、平成二十八年一月二十日、一般財団法人宮城教育振興会理事長から善行篤行児童生徒として表彰状が贈られました。

除雪作業で大活躍

暖冬と言われていましたが、平成二十八年になると仙台でも大雪が降りました。

一月二十四日(日)と三十日(土)には、八軒中学校野球部が、南材木町小学校や河原町郵便局前の歩道、河原町商店街周辺の雪かきをしました。八軒中学校では、各部



こちらは1月18日に行われた除雪作業の様子

活動が学校周辺の除雪作業をボランティアで行っており、その活動の一つです。

今年、平日はサッカー部、陸上部、バスケットボール部、環境整美委員会が、休日は野球部のほか、バレーボール部、バドミントン部、吹奏楽部が学校周辺の通学路の雪かきをしています。

同期が集えば(三)

第四十一回生(昭和六十三年卒)

八軒中学校を卒業してから四半世紀以上が過ぎた一昨年八月に、江陽グランドホテルにおいて、五十七名が出席して、初めての同窓会を開催しました。

昨年は、十一月二十一日に仙台駅東口の某居酒屋に有志が集まりました。およそ四十名が参加しました。(今野 一弘)

※掲載に当たり執筆者の敬称は略させていただきます。

同期会、同級会、幹事会等の開催情報募集中

「私の八軒時代」

第一集、第二集はまだ在庫があります。ご希望の方は、左記によりお申込みください。

① 郵送ご希望の場合

送料込みで一冊五百円以上の厚志を郵便振替にてお支払いください。手数料はご負担ください。

郵便振替口座

18170-40560541

加入者名

「私の八軒時代」編纂委員会

② 電話申込

佐藤 徳子まで

〇二二 二二三 三四三五

八軒つうしん第十一号

発行日

平成二十八(二〇一六)年

三月五日発行

発行者 八軒中同窓会事務局

千九八四一〇八二七

仙台市若林区南小泉

字八軒小路九一

仙台市立八軒中学校気付